



20周年を迎える本学会の進むべき道
日本歯科審美学会 名誉会員 平沼謙二



第20回日本歯科審美学会学術大会のご案内
松村英雄(日本大学歯学部歯科補綴学教室III講座)



セミナーのご案内

- [第2回セミナー](#)
- [第3回セミナー](#)
- [第4回セミナー](#)



AACD大会報告

愛知学院大学歯学部保存修復学講座 富士谷盛興

委員会報告

- [総務報告](#)
- [編集委員会](#)
- [学術委員会](#)
- [セミナー委員会](#)
- [国際渉外委員会](#)
- [会則検討委員会](#)
- [認定医審議会・認定士審議会](#)
- [ホワイトニングコーディネーター委員会](#)
- [MTM研修推進委員会](#)
- [会員証カード委員会](#)
- [歯科技工士部門活性化委員会](#)
- [歯科衛生士部門](#)
- [表彰委員会](#)
- [広報委員会](#)



歯科診療センター・審美歯科専門外来の概要

北海道大学病院・歯科診療センター 野田 守

賛助会員一覧

審美学会速報

巻頭言

**20周年を迎える本学会の進むべき道**

日本歯科審美学会名誉会員 平沼謙二

本学会の姿勢は会則に示されている“歯科審美学の基礎並びに臨床に関する研究の発展を期し、併せて審美歯科の普及を図ることを目的とする”ことであり、2001年には歯科審美学教授要綱(案)(歯科審美 Vol:14 No1)が示され“歯科審美学とは、顎口腔における形態美・色彩美・機能美の調和を図り、人々の幸福に貢献する歯科医療のための教育および学習に関する学問体系である”とされました。

美しいこと、特に口腔領域を主体とした歯科審美はその周辺の領域を含めて、静的にまた動的に人の自然な形態、機能に対する極めて重要な課題を有するものと言えましょう。

私は先に歯科審美学教育の指針案を提示しました。その大項目は、①美の概説、②美の歴史、③歯科医学と審美、④歯科審美に関する病態、⑤歯科審美(学)の基礎、⑥修復材料・機器、⑦歯科審美の臨床、⑧評価であります。10余年を経た今日ではこの指針も再考すべきかと思っておりますので、学会として特に各臨床学科との適切な協力と理解の下により良い指針、新しい方向付けを示されることを期待しています。

さて20年を経た今日、21世紀に向かっの臨床に対する質の転換にも適確に対応することが要求されましょう。すなわち、病態の変化・多様化、高齢化、技術の高度化、費用の適正化、社会的評価などについての思索が必要となりましょう。

多くの学際的分野を包含する本学会は日本的な美の思考と国際的な感性による美との共存も視野に入れ、一つ一つの課題を大切にしていって歩むことが求められることになりましょう。

20周年を迎えた日本歯科審美学会の更なる飛躍を期待し、発展を祈念するものである。

2009年 Summer Vol.19 (2009年8月発行) より

第20回日本歯科審美学会学術大会のご案内



日本歯科審美学会学術大会は「未来に向けた審美歯科Esthetic Dentistry : Toward the Future」を大会テーマとして、下記の要項で開催いたします。大会プログラムはすでにお知らせしました特別講演・招待講演・I~IV、のシンポジウムの他、2件のランチョンセミナーが確定しました。

また、6月末締め切りの一般演題も全国の会員から50題以上の登録をいただき、一層充実した内容になりました。学術大会のポスターも完成し、大会事務局では大会に向けて鋭意準備をすすめております。会員諸氏の多数の参加をお待ち申し上げます。

【会 期】	平成21年9月19日（土）／20日（日）
【会 場】	品川区立総合区民会館（きゅりあん）
【大会長】	松村英雄（日本大学歯学部歯科補綴学教室III講座）
【準備委員長】	宮崎真至（日本大学歯学部保存学教室修復学講座）
【実行委員長】	小峰 太（日本大学歯学部歯科補綴学教室III講座）
【大会WEB】	http://www.jdshinbi.net/

【学会プログラム】

●9月19日（土）

市民フォーラム

『幸せを呼ぶキレイの力 審美歯科で歯っぴースマイル』

「審美歯科で健口美」久光 久（昭和大学歯学部）

「夢を叶えるそうじ力」舛田光洋（そうじ力研究会）ほか

海外講演

Sim T.E. (President, Asian Academy of Aesthetic Dentistry)

招待講演

『口もとをより美しく見せる演出法』

矢野裕子（株式会社資生堂ビューティーソリューション開発センター）

シンポジウムI

『審美修復におけるチームアプローチ - 認定医・認定士の役割 -』

「審美修復における日本歯科審美学会認定医・認定士の役割」

末瀬一彦（大阪歯科大学）

「支台歯形成、印象採得から装着まで」

宮内修平（みやうちデンタルクリニック／大阪市）

「審美修復における技工指示内容と製作技法のポイント」

山本尚吾（BeR／東京都）

「審美修復における前処置と術前、術後の管理」

中村映子（ナグモ歯科クワバラクリニック／さいたま市）

ランチョンセミナーI（12：30～13：30予定）

『奈良先生に習い、真鍋先生に学べ！ 審美修復スキルアップセミナー』

座長：大槻昌幸（東京医科歯科大学医歯学総合研究科）

柵木寿男（日本歯科大学生命歯学部）

講師：大槻昌幸（東京医科歯科大学医歯学総合研究科）

奈良陽一郎（日本歯科大学生命歯学部）

古川匡恵（昭和大学歯学部）

柵木寿男（日本歯科大学生命歯学部）

真鍋厚史（昭和大学歯学部）

協賛：トクヤマデンタル株式会社

2009年 Summer Vol.19 (2009年8月発行) より

セミナーのご案内

メインテーマ「審美歯科を活用し、医院を活性化する！」

今年度は「チーム医療」として、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の連携とそれぞれのスキル向上のためのセミナーを以下のように企画しました。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

●第2回セミナー<歯科技工士活性化委員会との合同>

『NEXT! 次世代の歯科技工士を育成する』

【日 時】 2009年10月4日(日) 10:00~17:00

【会 場】 鶴見大学会館メインホール

【内 容】 次世代歯科技工士の育成を目的として、歯科技工士認定士が講師を務めるセミナーを開催いたします。審美歯科を達成することは、形態・色彩・機能の調和をはかることであり、これを学ぶことは補綴に関わる基本を学ぶこととなります。



【コーディネーター】 中込敏夫先生 (JADE)

【座 長】 齋木好太郎先生 (ラボラトリー・オブ・プリンシピア)

【講 演】 「人口歯形態を校了した審美的配列術」石川功和先生 (I.A.C)、「私の考える審美補綴 (メタルセラミックス)」小田中康裕先生 (有限会社バーレン)、「審美歯科の臨床」西村好美先生 (デンタルクリエーションアート)

●第3回セミナー<ホワイトニングコーディネーター委員会との合同>

【日 時】 2009年12月20日(日) 10:00~16:00

【会 場】 東京ステーションコンファレンス

【内 容】 “ホワイトニングフェスティバル 2009Winter@TOKYO” 大好評のホワイトニング フェスティバルを、本年もホワイトニングコーディネーター委員会とのジョイントセミナーとして開催いたします。昨年同様、午前中の講演、午後は各ブースに分かれての先生方によるハンズオン、Q&A、そしてメーカー展示と、ホワイトニングにおけるイベントを予定しております。

●第4回セミナー

【日 時】 2010年3月7日(日) 10:00~16:00

【会 場】 日本大学歯学部

【内 容】 認定歯科衛生士をめざして (仮題)

【コーディネーター】 田島菜穂子先生

シンポジウムⅡ

『審美歯科への新たな切り口 ジルコニアセラミック修復』

「ジルコニアセラミック修復の臨床術式」

六人部慶彦（むとベデンタルクリニック／大阪市）

「ジルコニアセラミック修復の技工術式」

山田和伸（カスプデンタルサプライ／名古屋市） ほか

特別講演 『口腔外科・形成外科と審美歯科』

米原啓之（日本大学歯学部口腔外科学教室Ⅱ 講座）

シンポジウムⅢ

『う蝕の進行ステージと審美歯科かかりつけ歯科における対応』

日野浦光（日野浦歯科医院／東京都） ほか

シンポジウムⅣ 『審美歯科を科学する』

「歯の色調を科学する」

高橋 登（タカハシデンタルオフィス／東京都）

「ホワイトニング材の歯質への影響を科学する」

向井義晴（神奈川歯科大学）

「審美歯科のマーケティングを科学する」

須崎 明（パンダ歯科／愛知県）

「Mechanical tooth cleaningを科学する」

小林明子（小林歯科医院／調布市）

「コミュニケーションを科学する」

宮地理津子（CURRENT-R株式会社・成増歯科医院／東京都）

ランチョンセミナーⅡ（12：00～12：45予定）

『口元のイメージチェンジに「ビューティコート」を活用する』

司会：岡田 浩（株式会社松風）

講師：大森かをる（鶴見大学歯学部）

協賛：株式会社松風

学術大会の準備状況は学会ホームページにてご覧いただけます。内容は更新されます。画面中央の「学術大会の詳細はこちら」をクリックしてください。

<http://www.jdshinbi.net/meeting/taikai/index.html>

下記ホームページからオンラインで参加登録ができますので、ご利用ください。

<https://apollon.nta.co.jp/20jaed-jr/>

学術大会参加事前登録の申込締切は8月24日（月）です。

【大会事務局】

第20回日本歯科審美学会学術大会事務局

〒101-8310 東京都千代田区神田駿河台1-8-13

日本大学歯学部歯科補綴学教室Ⅲ講座

Tel 03-3219-8145 Fax 03-3219-8351

E-mail komine@dent.nihon-u.ac.jp



AACD大会報告

2009年度アメリカ美容歯科学会 25周年記念大会に参加して

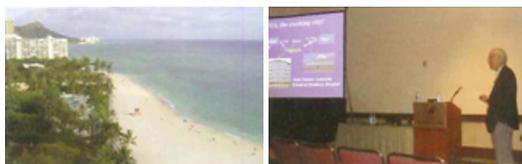
愛知学院大学歯学部保存修復学講座 富士谷盛興

平成21年4月28日から5月1日、ホノルルコンベンションセンターで開催された、25th Anniversary AACD Scientific Session (アメリカ美容歯科学会 25周年記念大会)に参加して来ました。大会開催直前よりSwain Flu (ブタインフルエンザ)で世界中が騒ぎ始め、特に熱しやすい日本人は過剰に反応し、マスクだらけ、帰国すれば自宅待機1週間~10日間などと大騒ぎになったことは記憶に新しいと思います。

AACD (American Academy of Cosmetic Dentistry) は、現在70カ国、約8,000名の会員数を有する世界で最も大きな学術団体の一つです。今年は、25周年に当たる記念大会ということで、Mickey Bernstein会長 (当時。現在は、Sesemann会長) 主導のもといくつかの新しい企画も試みられ、大会参加人数2,000名を超える盛大な学会でした。

まず、ホノルル開催という地の利を生かして、なるべくアジア諸国、オセアニア諸国の方の参加を促し、グローバルフォーラムを結成するというので、会期のうち2日間だけ参加でき、参加登録費も半額となる「2-day Program」が企画されました。この学会の「切り売り」には、アメリカ人の合理的な考え方の一端が窺えた気がしました。

また、その期間中に、これもまた初めての試みでしたが、ポスターセッションが開催されました。ポスターセッションが初めてということ自体に私は少々驚きましたが、AACDは教育プログラム (基本的に講演を聴く) が主体の学会ですので初の試みになったようです。これにより、日本、韓国や香港、オーストラリアやニュージーランドの先生は出張し易くなり、かなり多くの人数の参加があったようです。このポスターセッションのアイディアは、千田 彰IFED (The International Federation of Esthetic Dentistry) 常任理事の提言によるものと聞いております。



会長招宴会場の
Diamond Head
Tower Corner-Suite
から見た
プライベートビーチと
ダイヤモンドヘッド

教育講演中の千田先生

本大会のテーマは、「Excellence in Cosmetic Dentistry 2009 (美容歯科学の卓越性)」ということで、様々な教育セッションやワークショップが開催されました。教育セッションでは、千田 彰先生 (Esthetic Composite Bonding, Direct and Indirect)、松尾通先生 (Anti-Aging Dentistry)、山崎長郎先生 (Clinical Guidelines for Managing Complex Restorative Patient)、菅井敏郎先生 (New Trends of Implant Treatment) (講演順) 他多数の著名な先生が、それぞれの分野におけるinformativeな講演を行われ、それぞれに特色があり盛況でした。

また、2-day Programのテーマは「West meets East」で、Wynn OKUDA元AACD会長の立案、企画により「What is Esthetic?」というトピックのパネルディスカッションが開かれました。日本、韓国、中国、シンガポールなどの先生がパネラーとなり、それぞれの国の口元の美の違いから、審美ってなんだろう?ということ浮き彫りにする企画でした。小生も「Japanese Smiles」についてその文化的背景を含め問題提起し、会場の聴衆も参加したディスカッションとなりました。ポスターは、日本の先生を中心に米国、中国から発表があり、演題数は少なかったものの初の試みにAACD執行部は良い印象を持ったようです。

このたびの大会には、アジア歯科審美学会 (AAAD) の会員の先生も多数出席されていました。時期的な問題、参加費の問題などもあるかと思いますが、AACD、IFED、AAADなど国際大会に日本歯科審美学会からもう少し参加があればと思います。平成24年には、久光 久先生 (2010-2012 AAAD会長)のもと、佐野英彦先生 (2012 AAAD札幌大会大会長) が中心となって、アジア歯科審美学会学術大会が開催される予定です。日本歯科審美学会の国際渉外委員会委員として、会員の皆様のご協力を切にお願いする次第でございます。今後とも、どうかよろしくお願い申し上げます。



パネルディスカッション
夜のディスカッション
(左端が筆者) (右端は佐藤副会長)

| [Back](#) |

委員会報告

総務報告

本学会の会員は平成21年3月末において、A会員（歯科医師、研究所勤務者）2,250名、B会員（歯科衛生士・歯科技工士他）881名、法人会員28社であり、会員数が3,000名を超えました。昨年度の新入会員は、A会員308名、B会員323名でした。近年、歯科医師の会員数の増加とともに、ホワイトニングコーディネーター制度の創設により歯科衛生士の会員の増加が際立っております。会員の皆様には、今年度の会費納入のご案内がお手元に届いているかと存じます。ご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

本学会では、学術大会・セミナー、認定医制度・認定士制度・ホワイトニングコーディネーター制度など各種事業を行っており、逐次、学会誌「歯科審美」・ニュースレター・ホームページ（<http://www.jdshinbi.net>）等のご案内を行っておりますので、日程をご確認の上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

第20国学術大会が、平成21年9月19日（土）、20日（日）に松村英雄大会長（日本大学）のもとで、品川区立総合区民会館（きゅりあん）で開催されます。詳しくはホームページをご覧ください。なお、来年は、石橋寛二大会長（岩手医科大）のもと、岩手県で開催の予定です。

来年度は久光久会長（昭和大）に代わり、佐藤亨副会長（東京歯科大）が会長に就任の予定です。来年度の副会長等の人事は、学術大会前日の評議員会での議を経て、学術大会1日目（19日）に開催されます総会で承認していただく予定です。総会ではその他に事業報告や予算・決算など重要な案件を会員の皆様にご承認していただかなければなりません。また、その後に学術賞の表彰式等も予定しておりますので、会員の皆様は、学術大会参加の際に、是非、総会にご出席くださいますようお願い申し上げます。

（総務担当常任理事 大槻昌幸）

編集委員会

前回のニュースレター以降のご報告事項としましては、「歯科審美・第21巻2号」を平成21年3月に発行致しました。特集記事としては、「審美と接着」をとりあげ、執筆は田上順次先生、中村隆志先生、松村英雄先生に依頼致しました。

平成21年6月19日に今年度第1回編集委員会を開催致しました。主な協議事項は、第22巻1号の編集でした。特集については、今回は歯科技工士部門での企画を中込敏夫先生にお願い致しました。また「審美歯科関連の外来紹介」につきましても、これまで12大学に執筆をお願い致しましたが、今回は東京歯科大学水道橋病院と鹿児島大学にお願い致しました。今後も引き続き各大学に執筆のご依頼をさせて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

また投稿規程に関係することですが、昨年「ヘルシンキ宣言」の改訂がありましたので、現在投稿規定の見直しを検討しております。

今後とも学術大会で発表された研究につきましては積極的に「歯科審美」に投稿して頂きますようお願い申し上げます。

これからも編集委員会としては紙面充実に努力していきたく思いますので、皆様のご協力をお願いする次第です。

（委員長 寺田善博）



| [Back](#) |

学術委員会

日本歯科審美学会も会員数が急増し、3,000名を突破しもなく3,500名に達しようとする勢いです。歯科審美治療の躍進は、新しい機材の開発が大きな原動力になっていることに違いありませんが、保存修復学、歯周病学、補綴咬合学、矯正歯科学、口腔外科学などの先端歯科医療のインターディシプリナリーの結集そのものであると思います。すなわち歯科審美治療の革新が現在の歯科医療の活性化に直接つながっていくものと考えます。日本歯科審美学会では多くの歯科医療関係者が集い、国民の生活の質を上げるべく成果を発揮しなければなりません。

今夏ラスベガスで開催されますIFEDにも日本から多数の会員が出席されるようです。日本の歯科審美のレベルの高さを発表し、海外の最新治療について研鑽していただきたいと存じます。また、9月には第20回日本歯科審美学会学術大会が「未来に向けた審美歯科 Esthetic Dentistry : Toward the Future」をテーマに松村英雄大会長のもと開催されます。すでに特別講演・シンポジウム（4テーマ）・海外講演・市民公開講座なども企画され、充実した記念大会になることが予想されています。少なくとも学会の1/3の会員が出席されることを期待しています。また、セミナー委員会、ホワイトニングコーディネーター委員会、デンタルカラーコーディネーター委員会、認定制度委員会、歯科技工士部門委員会などが日本各地で講習会を企画しています。学術委員会では、会員の皆様方が参加しやすい講習会の企画、開催に向けて各委員会との連携を図っています。講習会等に係るご意見がございましたら学術委員会までご提言いただければ幸いです。

(委員長 末瀬一彦)

セミナー委員会

昨年度から『審美歯科を活用し、医院を活性化する！』のテーマのもと、今年度は『チーム医療』を掲げ、歯科医師と歯科技工士、歯科医師と歯科衛生士、そして三者のチームワークを具体的に述べていただく講演会を企画しております。そして、昨年から開催されておりますホワイトニングコーディネーター養成セミナーへのフォローとしてのコーディネーター委員会との合同セミナーの開催、さらに歯科技工士活性化委員会との合同講演会の三本柱で活動しております。

第1回セミナーは7月12日（日）、坪田健嗣先生のコーディネートのもと、『審美補綴を成功に導くための、歯科医師と歯科技工士のチームプレー』をテーマとして日本大学歯学部大講堂で開催されました。

当日は好天の中、久光会長・斉木副会長にもご出席いただき、また、宮崎先生の医局の11名の先生方にもご協力いただきながら80名の参加者のもと、講演が開始されました。午前は行田先生の軽快にも説得力のある審美的な前歯部補綴治療の話、その後の滝澤先生とその補綴物作製のための具体的な手技・シェード等わかりやすいご講演をいただきました。午後からは夏掘・十河先生の日常臨床における診療所と技工所の具体的なタイアップについてインプラント補綴症例を通して詳細に述べていただきました。お二人の息のあったご講演が印象的でした。今回若手の先生が多く質問も基本的なことが多かったかと思いますが、各講師の先生方は丁寧にご説明いただきました。最後まで熱気のある素晴らしいセミナーであったと思います。

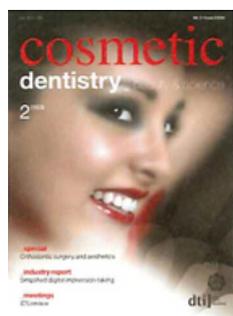
これからも会員のためのセミナーとして貢献することを第一に考えておりますが、執行部、委員会の先生方のご指導・ご協力をいただき、更に充実したセミナーにしたいと思っております。

(委員長 桑原 栄)



| [Back](#) |

国際渉外委員会



今年夏以降の国際渉外関係の行事や話題を紹介させていただきます。

まず、8月2～5日にIFED（国際歯科審美学会）がラスベガスで開催されます。このIFEDラスベガス大会には、F.Spear, J.Kois, G.Chiche, J.Strub, K.Malament, D.Tarnow, D.Garber, M.Salamaといった世界的に著名な演者が多数登場します。日本の歯科審美学会から宮崎真至先生（日本大）も講演されます。前回のソウル大会と同様に多数の参加者で盛会になることを願っております。

9月の日本歯科審美学会（松村大会長、品川区きゅりあん）で、AAAD（アジア歯科審美学会）のDr.Sim会長（マレーシア）が講演されます。来年は、クアラルンプールでアジア歯科審美学会が開催されますので、この案内アジア歯科審美学会も講演内容に含まれる予定です。アジア歯科審美学会は国際学会ですが、なごやかな雰囲気です。海外での発表経験がなくても、十分対応可能だと思います。来年の学会参加予定に入れられてはいかがでしょうか。また、アジア歯科審美学会では、“Cosmetic Dentistry”誌のアジア版（Dental Tribune International）が学会誌として採用され、日本の会員もこの雑誌に投稿が可能です。英文雑誌に症例報告を掲載希望の方はぜひご利用ください。

11月に韓国の歯科審美学会が開催されます。日本と韓国の審美学会は、姉妹協定を結んでおり、今回は久光会長の挨拶や富士谷先生（愛知学院大）の特別講演が計画されています。学会は11月8日の日曜日にCOEX（ソウル）で開催される予定です。詳細がわかれば、ホームページに掲載いたします。日本から会員の先生方が多数参加いただけると幸いです。



Dr.Cheol-Ho Paik韓国歯科審美学会国際渉外委員長と中村、若林（ともに 国際 渉外委員会）。アジア補綴学会の際に、Dr.Paikの診療所を訪ねた際の 写真です。11/8の 韓国歯科審美学会の 前日には歓迎の 食事会を予定しているそうです。

| [Back](#) |

会則検討委員会

日本歯科審美学会は会員数が3,000名を越え、歯系学会の中でも大きな存在となりました。とくにホワイトニングコーディネーター制度により歯科衛生士会員が会員構成の大きな比率を占めるようになったことは誠に喜ばしいことです。こうした学会の現状において学会の発展に貢献した会員への功労、若手研究者、歯科技工士および歯科衛生士の学術活動を推進するために、表彰委員会では長岡委員長の下で「学会表彰制度規則」が策定されました。それを受けて本委員会では会則の一部改定と既存の各種制度規則との整合性をはかる共同作業を進めてまいりました。

また、会員の増加に伴い、審美歯科という性質上、会員の倫理性が社会から強く問われています。そこで倫理委員会では桃井委員長の下で新しく「会員行動規範」が策定されました。それを受けて本委員会では会則の一部改定と行動規範に違反する不正行為の疑いが生じた場合の「会員行動規範に基づく倫理調査に関する細則」を作成しました。以上の案件については常任理事会および理事会で承認を得たところです。今秋の評議員会および総会ではこれらの案件についてご審議をお願いする次第です。

学会の憲章である学会会則の精神は尊重されなければなりません。しかし、数々の学会事業を展開するには、実情にあった対応が求められます。その点を十分配慮しながら、会則と諸規則の整合性をはかっていく所存です。

(委員長 福島正義)

認定医審議会・認定士審議会

以下に、平成21年に行われました本委員会の報告をさせていただきます。

認定審議会ならびに認定制度運営委員会の実施

- 平成20年2月12日（木）に平成20年度秋季第24期認定医申請者および第9期認定士審査保留者に対するプレゼンテーションおよび口頭試問を行った
 - 第24期認定医審査（2名）の結果、1名合格：横田春日（クローバー歯科）、1名保留
 - 第9期認定士審査保留者1名の審査結果、合格：内藤孝雄（五十嵐歯科）
 - 平成21年5月28日（木）
 - 認定医更新希望者14名書類審査合格
 - 認定士更新希望者（技工士5名、衛生士1名）書類審査合格
 - 第25期新規認定医書類審査（3名）、2名合格、1名保留
 - 第10期新規認定士書類審査、歯科技工士8名全員合格、歯科衛生士13名全員合格
- 以上のように、第10期認定士取得希望者が極めて多数に及んだのは暫定措置期間が平成21年3月末で終了するためである。

今後の予定

認定取得希望者が多数に及んだことから、審査は平成21年8月8日（土）および8月9日（日）の2日間にわたり実施することにした。すなわち、第25期認定医申請者3名および第10期認定士申請者21名（技工士8名、衛生士13名）の計24名に対しプレゼンテーションおよび口頭試問による審査予定である。

(委員長 宮内修平)

梅雨明けの南国沖縄での開催大盛況

「こんにちは。部屋の中はクーラーが寒いですね。」「どちらから来られたのですか?」「このリュック一つで大阪からやって来ました。」「えっ?大阪からですか?」「地元開催は、先なので、やる気があるうちにといい、大阪からこの為に来たのです。あなたは地元のかたですか。」「はい。私は、沖縄です。」

昨日までのどんよりとした曇り空が嘘のように梅雨明けを迎えた沖縄は、射すようなまぶしい夏の陽射しでした。ホワイトニングコーディネーターの認定試験での休憩時間、はるばる大阪からいらした衛生士さんと、地元沖縄の衛生士さんが初対面の中、青空の下でホワイトニングの情報交換などを楽しそうにしていました。認定試験会場での、とても微笑ましい光景でした。

6月28日、日本歯科審美学会が主催するホワイトニングコーディネーター認定試験も北海道から沖縄まで主要都市を駆け巡りました。開催回数14回、コーディネーター誕生4,000名。正直、日々の仕事をしながらの活動は講師陣、委員にとって大変なものがあります。しかし日本全国にまだまだ、ホワイトニングに対し学びたい、資格を得たいと望む衛生士さんが沢山いらっしゃいます。また、主要都市まで足を運ばないと講義を聞けない方も沢山いらっしゃいます。私たち委員はそのような熱心な衛生士さんたちに支えられているような気がしてなりません。コーディネーターの資格を得て、先ずはその知識を正しく理解しその情報を臨床の中で活用してこそ「審美から人々に喜びを与え、健康をつくるきっかけとなる」そう、委員一同願い活動を続ける日々です。

(委員 田島菜穂子)



| [Back](#) |

MTM研修推進委員会

MTM研修推進委員会では、現在の歯科臨床においてMTM治療がどのように認識されているか等を含めた内容のアンケートを昨秋実施させていただきました。アンケート結果を要約すると、MTM治療の捉え方は、一般歯科と矯正専門では補綴やインプラント治療の前処置、歯周治療の一環として全て同等に捉えられており、他の専門では、それぞれの専門分野に関わる部分でMTM治療を認識している傾向がありました。またご自身でMTM治療を行う場合には、矯正専門は他科専門の意見を参考とし、他の専門では矯正専門の意見を参考とする傾向が認められました。

初期治療の一環として行われるMTM治療ではありますが、適用範囲は決して狭くはなく、現状では各分野の専門的知識や技術を統合して治療を行っていかねばならないと捉えられていると考えられました。このような結果を踏まえて、近々前回アンケートではお聞きできませんでしたMTMに関する治療費の設定や高頻度に行われる治療内容など、マネージメントも含めた具体的な内容についてもご意見を伺いたいと考えております。

本年度も会員の皆様のご協力のほどお願いしたいと思います。

(委員長 三浦廣行)

会員証カード委員会

現在、日本歯科審美学会は、会員諸氏のご理解により会員数も増えておりますし、学術大会を始めとする各種セミナー、ホワイトニングコーディネーター講演会、歯科技工士部門活性化委員会による講演会等の各種催事、また、認定医等の各種認定制度等により学会運営、活動をおこなっております。

そこで、本委員会にて会員管理、各認定制度の管理、各種催事の参加管理等のために、「会員証カード」を発行する方向で検討していることについてはすでにご報告させて頂いた通りで御座います。

本委員会では、その後、会員方の会員歴、学術大会や各種セミナー等の参加歴がご自分で閲覧可能となるシステム構築、カードの種類、カードに蓄積する情報、カードの有効期限、イニシャル・ランニングコスト等将来的にも活用できるための費用対効果を多角的に検討しているところです。現在のところ基本的なシステム構築やカード案等も纏まりつつあるところです。

また一方では、会員カード作成を進行中、考案中の他の学会も共有可能な学会と共同発行できれば、それぞれの学会に所属していても1枚のカードで管理、会員サービスを受けることも可能となり、何よりも経費の削減の可能性も生じてくるのではと検討を始めたところです。

いずれにしても、会員の皆様方に喜ばれ本会にとっても有益な内容となるようなカードを検討させていただいておりますので、皆様方よりのご意見頂ければ幸いですし楽しみにしていただければと思います。

(委員長 齊木好太郎)



| [Back](#) |

歯科技工士部門活性化委員会

日本歯科審美学会においては、歯科医師を始めとしてコデンタルである歯科衛生士、歯科技工士、歯科審美に係わる関係者によって構成されている。その中で、最近では歯科衛生士さん方の入会者数、歯科衛生士さんが主となるホワイトニングコーディネーター制度等の活動は内外において目覚ましいものがあります。

一方、歯科審美学に關与する歯科技工士の活動の場も多々有り、それを歯科技工士会員はもとより会員外の歯科技工士の方々へも周知して、歯科審美の理解と歯科審美学の重要性を理解頂き、学会内や臨床の場で多いに活躍して頂くべく「歯科技工士部門活性化委員会」が設立されました。

委員会は、現歯科技工士部門認定士の方々により構成され、中込敏夫委員（常任理事）を中心としてその具体的な活動方針を計画しておりますが、例えば、歯科技工士部門認定士が講師を務める講演会を各地で開催、その中には、若き歯科技工士の育成を目的として、必ず開催地若手歯科技工士の方にも講演して頂き、その内容を「歯科審美」等の論文掲載。また、「歯科技工」誌を通じての本会の活動意義、本委員会の活動、講演会の開催案内、講演会の特集号の発行等の広報活動をおこなう予定であります。その一環として、すでに本年の「歯科技工」7月号にはその一部が掲載されたところです。講演会については、今年10月4日に神奈川（鶴見大学会館メインホール）、来年度8月東京、2月大阪が予定されております。

このように、「歯科技工士部門活性化委員会」では、歯科審実学の歯科技工士への啓蒙活動、それを通じて歯科技工士会員、歯科技工部門認定士の増加等をおこなうべく活動を始めているところです。

会員の皆様方におかれましては、本委員会の趣旨をご理解頂き周りにおいでになる歯科技工の方々へ講演会の参加等のお声掛け、お誘いを頂ければ幸いです。

(委員長 齊木好太郎)

歯科衛生士部門

歯科衛生士部門からは、歯科衛生士の会員数についてご報告させていただきます。2009年6月現在の歯科衛生士会員数は、893名となっており、依然として会員数は増加し続けております。

また、昨年12月に東京で行われた、セミナー委員会とホワイトニングコーディネーター委員会共催のホワイトニングフェスティバルが3月に大阪でも開催され、546名の参加者のうち、会員の歯科衛生士が110名、非会員の歯科衛生士が312名参加していました。

今年12月には、東京で2回目となるホワイトニングフェスティバルが東京ステーションコンファレンスで開催されますので、9月19・20日に品川区総合区民会館きゅりあんで開催されます学術大会と共に、今回も多くの歯科衛生士の皆様にご参加いただきたいと思っております。

最後に、本学会の認定士でもあります武井典子さんが、日本歯科衛生学会の会長になられましたことを併せてご報告させていただきます。

(歯科衛生士部門常任理事 永瀬佳奈)

表彰委員会

表彰制度について検討を重ね、進捗状況を何度がお知らせしてきましたが、5月21日の常任理事会において、規則、細則、内規、申請書、賞牌文面などが承認されました。賞については、次のような種類が設けられました。①学会功労賞（本会の発展に功労のあった人物）、②学会優秀研究論文賞（優秀な原著論文の著者）、③学術優秀臨床論文賞（優秀な臨床論文の著者）、④学会奨励優秀論文賞（優秀な原著論文あるいは臨床論文の筆頭著者で35歳未満者）、⑤優秀発表賞（本会学術大会における優秀なポスター発表）です。3つの優秀論文賞については、対象論文を本会機関誌「歯科審美」に掲載されたものに限定し、当初検討した他学会の機関誌に掲載された論文は対象から外されました。各賞を審査選考するための選考委員会（会長、副会長、学術委員長、編集委員長および会長が指名した若干名の理事または評議員）が設けられ、各賞候補者の募集は、毎年度の本会機関誌第2号において行われます。優秀発表賞（デンツブライ賞を含む）はコデンタルを区別することなく評議員の記名式投票によって選考されます。

以上が表彰制度の概略ですが、運用しながら、より良いものにしたいと考えています。会員諸兄弟のご理解とご支援をお願い申し上げます。

(委員長 長岡英一)

広報委員会

日本歯科審美学会は学会として20回目の学術大会が開催される記念すべき年を迎えました。そこで本冊子の巻頭言は学会長として歯科審美学教育の体系づくりにご尽力なさいました平沼謙二先生にお願いし、今後の学会の進むべき道に示唆をいただきました。審美歯科として要求される医療も時代のニーズに適応して変化してきましたが、また同時に、学際的な学会として、形態美、色彩美、機能美の調和を目指す歯科審美の本来あるべき姿を伝え、社会をリードしてゆく役目も果たさねばならないと思います。その意味でホームページは学会の社会への窓口としての重要な役目を担っています。今やインターネットを通して流れる情報は善くも悪くも一般の人々に素早く伝わります。広報委員会では今の時代に即した、正しい情報が伝わりやすいホームページへ姿を変えるべく、大幅な更新作業を開始します。忌憚のないご意見をお寄せください。

(委員長 黒田康子)

| [Back](#) |

歯科診療センター・審美歯科専門外来の概要

北海道大学病院・歯科診療センター 野田 守

当部門は北海道大学病院・歯科診療センター（現名称）に平成12年に設置された専門外来で、保存系（冠橋補綴・歯周・歯内療法）・咬合系（義歯補綴・保存修復・矯正）からの兼任スタッフで構成されています。

多くの患者さんは、いずれかの部門に通院されていて、審美的要素が大きい処置を希望された場合に、当部門の担当医が依頼を受けることが多いようです。各々の専門性を活かして治療に当たっています。

設立当初は、前歯部だけでなく臼歯部でも天然歯の色調に希望される患者さんに、生体親和性が高く、自然な色調を有するポーセレンやセラミックによる修復が主体であったようです。

近年では修復物に天然歯と同様の色調を求める事が一般的になった一方で、「歯質切削を最小限に」、あるいは「極力、歯を削らず、審美性を回復したい」と希望する患者さんが急増しています。そういったニーズの変化を反映し、ブリーチングを取り入れた処置が増加しています。症例によっては、ホームブリーチングを選択し、来院の負担を軽減することにも努力しています。

患者さんの要求は急速に変化し続けていて、丈夫にしっかり咬めることから、自然な歯の白さが求めるようになりました。そして、削らず短時間で済ませたい、人前にでる、大切な写真を撮影するなどの理由で、「一時的に白くしておきたい」というニーズも増えています。複数分野からのスタッフによる構成という利点を活かし、時代の変化に柔軟に対応できる診療部門でありたいと考えています。



2009年 Summer Vol.19 (2009年8月発行) より

賛助会員一覧

 相田化学工業株式会社相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>アストラテック株式会社
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-16Tel: 03-5775-0515
<http://www.astratech.jp> 石福金属興業株式会社石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishiyaku.co.jp>医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>Ivoclar Vivadent株式会社
〒101-0033 東京都文京区本郷1-28-24 4FTel: 03-6903-3535
<http://www.ivoclarvivadent.jp>ウルトラデントジャパン株式会社
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-15ATビル2F
Tel: 03-3437-0751
<http://www.ultradent.com/>株式会社エイコー
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10Tel: 03-3834-5777
<http://www.morimura-jpn.co.jp/> 長田電機工業株式会社長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5Tel: 03-3492-7651
<http://www.osada-electric.co.jp>クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>クラレメディカル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel(フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraray.co.jp/dental>サイブロン・デンタル株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-24Tel: 03-5977-3127
<http://www.kerr-japan.com/>株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14Tel(フリーダイヤル): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>シロナデンタルシステムズ株式会社
〒108-0074 東京都港区高輪2-15-21高輪小野ビル3F
Tel: 03-5475-2255
<http://www.sirona.co.jp>

タカラベルモント株式会社

タカラベルモント株式会社
〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1
Tel: 06-6212-3619
http://www.takara-dental.jp



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10
Tel: 03-5114-1001
http://www.dentsply-sankin.com



株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア高洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
http://www.tokuyama-dental.co.jp



株式会社ニッシン
〒601-8469 京都市南区唐橋平坦町8
Tel: 075-681-5719
http://nissin-dental.jp



白水貿易株式会社
〒532-0033 大阪市淀川区新高1-1-15
Tel: 06-6396-4400
http://www.hakusui-trading.co.jp/



プランネットワークス株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂1-6-19
KY蒲池ビル
Tel: 03-5573-4188
http://www.dentwave.com



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
レジオ大井ビル6F
Tel: 03-5746-0316
http://www.j-pentron.com/



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
Tel: 078-303-8241
http://www.mokuda.co.jp/



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
http://www.momose-dm.co.jp



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
http://www.dental-plaza.com



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel: 03-3845-2971
http://www.yoshida-dental.co.jp

サンメディカル株式会社
株式会社ハーマンズ
サウスコーストデンタル株式会社
メディア株式会社

MORITA *Happy Smiles & Heartful Communication*

PYRENEES
In-Office Teeth Whitening System

白い歯、
輝いていますか？

Eriko Kumazawa

歯科用漂白材 **ピレーネ** 製造販売 三菱ガス化学株式会社

●医療機器承認番号 21800BZZ10066000 ●医療機器の分類 高度管理医療機器(クラスIII) ■標準価格 30,000円
○経産品の標準価格は、2009年1月21日現在のものです。標準価格には消費税は含まれておりません。○ご使用に際しましては添付書を必ずお読みください。

発売 株式会社モリタ 大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL:06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL:03-3834-6161

www.dental-plaza.com

審美学会速報

●ESCD (European Society of Cosmetic Dentistry) の年次大会

【会 期】 2009年9月25-27日

【開催地】 パリ

※参加ご希望の方はMrs.Metais (下記メールアドレス) までお問い合わせください。

E-mail caroline.metais@mcocongres.com

●韓国歯科審美学会の年次大会

【会 期】 2009年11月8日 (日)

【会 場】 COEX ソウル

※参加ご希望の方は中村隆志国際渉外理事まで

●第21回日本歯科審美学会学術大会

【会 期】 2010年8月28日 (土) ・ 29日 (日)

【会 場】 安比プラザ・リゾートホテル

岩手県八幡平市安比高原 (盛岡～安比・約60分)

【大会長】 石橋寛二 (岩手医科大学歯学部教授)

●第11回アジア歯科審美学会

【会 期】 2010年7月

【会 場】 クアラルンプール

【大会長】 Dr.SIM T.E. (アジア歯科審美学会会長)